

ついにやった！憧れの表彰台

マラソンは70歳未満と70歳以上で分かれている。神奈川大会は12位。愛媛大会は9位だった。私にメダルはほど遠いだろうけど、チャンスがあるとしたら70歳の今回しかないな、と思っていた。練習に励まねばと思うもののこの夏は稀に見る猛暑。町中を走っているつもりでも歩いている人に追い抜かれる始末。おまけに大会前になって大食が続き、体重2kg増で体が重くて仕方がない。参加者名簿を見ると今回の5kmは、3km・10kmに比べて極端に少なく4人（後に1人追加となっていた）。「完走すれば入賞だし、1人抜けば銅メダルだよ」と仲間に言われる。

いよいよ5kmのスタート。男子・女子・年齢に関係なく皆一緒のスタートなので大勢だ。70歳以上のゼッケンをつけた女子3人は偶然近くにいた。速そうだ。ウェアの着方など格好で分かる。銅メダルは無理だなど悟る。スタートするとたちまちランナーたちの背中は小さくなっていた。まるでハイウェイを車がかっ飛ばして行くようだ。私の後ろに人はいない気がする。こんなにも走力が違うのか。もう私走るのやめた方がいいかな。仕方ない。自分は自分のペースで行くしかない。これ以上速く走れないし。など、様々なことが思い浮かぶ。やっとゴールが見えてきた。フニッシュ。係の方が札をかけてくださる。見ると3位とあるではないか。え～私1人抜いたのかな。ぽつりぽつり抜いたのは70歳以下の人大と思っていた。後で「実は間違えでした」と言われるのではないだろうか。しかし、その心配は杞憂に終わった。

「5km70歳以上3位武井清美さん」名前が呼ばれた。壇上に上がる。銅メダルを首からかけていただく。まるでアスリートになったかのような気分。私が表彰台に上がって

いるなんて信じられない思いだ。70歳にして人生初めての経験。こんなことが起こるなんて人生分からないなあとしみじみ思う。

今回の神奈川県選手団は、今までにも増して強者ぞろい。皆さんフルマラソンを相当のレベルで走る。心優しくて気さく。開会式の後は、ロープウェイに乗り岐阜城に行った。写真もたくさん撮っていただきて、良いアルバムが出来た。帰りは小田原でお疲れ様会と称して大いに飲んでおしゃべりをして、別れを惜しんだ。ねんりんピックをきっかけに交流の輪が広がっている。皆さんありがとうございました。